

平成 29 年度 第 1 回 島田市立学校給食センター運営委員会会議録

- ・ 日 時 平成 29 年 6 月 29 日（木） 午後 3 時～ 4 時 30 分
- ・ 会 場 中部学校給食センター研修室
- ・ 出席委員 五條早規子委員、秋田美八子委員、小坂彰宏委員、平岩雅治委員、湯浅綾子委員、大矢良登（代理 山西）委員、天野昭博委員、杉本容康委員、岡澤知彦委員、八木克典委員、木原正晴委員、釧持加代子委員、渥美千尋委員、
- ・ 事務局 濱田教育長、畑教育部長、池谷学校教育課長、高橋学校給食課長、戸田課長補佐、紅林主査、新村主任栄養士、鈴木主事

（議事内容）

1. 開会（司会進行）

司会より、委員 14 人中 13 人出席しているため、島田市立学校給食センター運営委員会の会議の成立を報告する。

2. 挨拶（教育長）

みなさん、こんにちは。お忙しい中、この会の委員を引き受けていただきありがとうございます。1 年間よろしくお願ひします。最近天気の話が気になっています。21 日の大雨の日には、子供達の登下校も心配だったのですが、千葉の方で 3 か所ほど土砂崩れがあつて、道が通れなくなるようなことが起きています。ニュースを聞いていますと、あちこちで異常気象が起きています。例えばヨーロッパですが、異常気象による山火事が起こっていますし、アンデスの標高 4,000 m 位の所で、気温 30 度を記録したというニュースがありました。世界的な異常気象があると、食料品の値上がりが必要ではないかと思ひます。過去にも、異常気象を踏まえまして、食料品が上がつたという事があります。小麦を中心として、いろいろな物が値上がりしなければいいかと思ひます。

中部学校給食センターは、新しくなつて、安全安心なセンターとして稼動しています。学校給食センターを原因とするような事故は起きていません。南部学校給食センターは、施設改修・機器更新を計画的に進めていまして、今年度は空調設備、食缶類洗浄機、大きな冷凍冷蔵庫の設置を予定しています。今後も計画的に安全安心な給食を提供するための、南部学校給食センターの改修を行つて行きたいと思ひます。そうすれば、もっと安全安心な給食を提供できるかなと思ひます。行政側の立場として言うのもおかしいですが、大変職員の意識が高く、他市では大きな食中毒事件が起きていますが、島田市はそれを未然に抑えている事は、自慢していいかなと思ひます。

子供を取り巻く食の事については、朝食の欠食の事とか、弧食の事とか、食物アレルギーの事とかあります。それぞれに、学校教育課と学校給食課が連携してやつて行かなければと思ひます。

島田市の地産地消は他市と違つて静岡県の食品ではなくて、島田市の食材を

40%使っていこうという所に特色があります。給食の残量も大変少ないです。私が以前学校教育課長をやっていた時には、10%~15%の残量がありましたが今では、5%をきっています。その位きちっと食べるような指導が、校長会を中心として行っている事も、島田市の自慢ではないかなと思います。今後も学校給食に関わる事は、直に子供達の健康に繋がっている事ですから、大事に丁寧に扱って行きたいと思います。皆様方のご意見を聞く事で、よりよい学校給食を提供して行きたいと思いますので、力添え頂きたいと思います。本日はよろしく願います。

3. 議事

運営委員会規約第5条第4項の規定により、会長が議事を務めた。

「1 学校給食センター運営委員会の組織及び業務等について」事務局より説明を行った。

(質疑)

会長「規則の施行期日が平成17年5月5日からですよね。多分その前にもこのような形で、何かしら規則があったのではないかなと思いますがどうでしょうか？」事務局「平成17年5月5日というのは、島田と金谷が合併した時、新しい市になっての日付となっています。それまではそれぞれの市町でこのような規則があったと思います。」

次に「2 報告・説明事項(1)平成28年度学校給食事業の実施状況について」事務局より説明を行い、質疑を受けた。

(質疑)

会長「残食と地産地消の数値ですが、残食の目標ラインが4%、地産地消の島田市の40%はすごい割合だと思うのですが、この4%と40%の数字は何か根拠がありますか？」

事務局「残食の方からですが、4%の目標ですが、冒頭教育長からも説明がありましたが、以前大変残量が多くて、10%位ありました。学校の働きかけや、子供達が積極的に給食を残さず食べようという意識の改善がされて、5%が何年か維持されてきました。そこで、目標を4%と決めさせて頂きました。数値だけではなくて、給食は栄養に必要なものである、皆と食べる事から学ぶ事が沢山あるので、給食を皆で楽しく食べるという目標もあるという事も申し伝えます。

地産地消の40%ですが、島田産になります。学校給食では、週に3回主食がご飯になっておりまして、ほぼ100%島田産米になっています。そこで重量等は多くなっています。その他にも、今日JAさんもいらっしゃるのですが、島田産の物が沢山とれますので、通年を通して、生しいたけ、干しいたけ、小松菜も島田産の物を使っています。冬には、キャベツ、ブロッコリー、神座のみかん、お茶、こういった物が給食に使われますので、数値としては、ほぼ例年、40%を維持できる数値を目標とさせて頂いています。」

会長「ここにいる親御さん達に意見を出してもらいたいのですが、朝食の摂取状況

の件ですが、朝食調査の結果で、学年でも見たのですが、中学3年生の欠食率が、
がすごいなと思いました。全部の欠食率が上がっているのではなくて、小3は下
がりぎみなのですが、毎年、小3だったり、中3だったりするわけではないので、
前の年に中2だった子が中3になっているのでその影響ではないと思います。

委員「私は、今中3の息子がいます。実は今受験の時期です。勉強が難しいもの
ですから、塾に行っています。帰ってくるのが、10時20分位です。塾に行く前
にも、少しは食べているのですが、帰ってきて食べたりもして、それから学校の
宿題をして、寝て、朝起きてお腹が空いてない時もあります。家の子は野球部で
すが、朝ちょっと少ない感じで行って、給食で食べるという子もいるかな、女子
は、ダイエットで食べないのかなという情報を聞きたいと思いました。」

委員「中学生と小学生の女子がいます。自分も体育会で育ってきたので、食べなさ
いと言っているのです、ずっと朝ご飯は食べさせるようにしています。時間がぎり
ぎりでも、ご飯は食べて行きます。」

委員「中3の娘ですけど、私とは対照的にスラリとしていますが今から体型を気に
しているそぶりは見られます。だけど、朝ご飯はしっかり食べます。そのかわり
夜は、これではお腹が空かない？と思うほどしか食べません。朝は、学校でお腹
が鳴っちゃうので恥ずかしいからご飯は食べて行きます。朝、欠食する事はない
ですけど、朝食べないという話は聞きます。」

会長「夜は遅くないですか？」

委員「塾に行っていないので、そんなに遅くはならないです。多分、お腹が空く前
に寝てしまいます。鉄分が、不足してしまった時があって、貧血ぎみで病院にか
かった事があります。小松菜とか食べさせるようにしました。給食の様にバラン
スよく作るのが大変なので、普通のサプリを飲ませたりしました。」

委員「思春期に入ってくると、親の言う事をなかなか聞かない、そうなってくると、
学校で皆と、勉強するとか、体験することが、すごく子供達の身になっていると
思います。家の子達は朝ご飯を食べているのですが、話を聞くと、学校の授業で、
朝ご飯大事って聞いたから、朝ご飯食べてくという話はしていましたので、すご
くありがたいなと思います。栄養教諭の先生が学校を回って、授業をやってくだ
さっているのです、その取組が朝食の摂取状況にも影響してくるのかなと、学校で
も、そういった話をして頂けるとありがたいなと思います。」

委員「一緒にご飯を食べる事がほとんどないです。私が食べないので、注意した事
がなかったですが、食べているとは思いますが。」

委員「先ほど、残量の数値が話題になったのですが、子供の体型から、食欲は個人
差が本当に大きくて、分け方も学校によってまちまちです。一律決められた量を
分けきっちゃって残りという学校もあれば、クラスによっても違うし、食欲旺盛
な子に残ったものを全て食べさせて、実質的には、細い子もいるのですが、残量
としては0になる、そういう事もあるので、一概に言えない面もあります。こう
やって数値を出してくれているので、励みにもなるし、指導にも生かされるので、
ありがたいです。」

委員「ほとんど残量がない学校です。一度は全ておかずをお皿に盛りますが、食べ

きれいな子は、お皿から戻します。おかわりもするし、余ると給食委員が分け切るまで、声を掛けて回っています。職員室で級外の余りの分も、生徒がクラスに持っていったりもします。10年程前に、学校教育課長から電話がありまして、教頭残量がちょっと多いので何か対策を、との事でした。給食委員が、頑張りメニューを決めましょうと、呼びかけるなど頑張ってくれました。呼びかけも子供がすれば、反応があるように感じまして、劇的に数値が変わりました。実際に動いている子供達の力が大きいなと思いました。」

教育長「残量が平均して10%位の時がありました。私が学校教育課長をやった時は、平成20年、21年だったのですが、その時はそういう状況でした。

約4億2千万円の給食費を集金しているのですが、その10%だと、4千万円を捨てるという意味です。これは深刻に考えないと言う事で校長会にお願いしました。最初に反応したのは、初倉中学校でした。初倉中学校では、食べきりメニューを設定しました。頑張りメニューと言ったのですが、今日はミニトマトを皆で食べましょうと。今まで嫌いな子でも、皆が食べているから食べましょうと、好き嫌いをなくす、または、この食事だけは、皆で頑張りましょうと決めました。食べきっちゃったクラスは校内放送で奨励して、初倉中学校は劇的に減りました。そうしたら、校長会全体で、食べきりメニューの設定、分けきり方式、一度食缶の物は、全て分けて、それから食べられない子は戻して、他の子がおかわりでもいいのですが、一回食べきりメニューをやりましょうという取組を校長会がやりました。それで劇的に減ってきたのです。川根は特別でして、食べきりメニューをやる前から、ほとんど0でした。それは、中学生の運動量が半端でない、部活にしても、体育にしても、エネルギー消費量が多かったのが、当時から女の子でもすごい食欲でした。私が学校教育課長をやる前、川根中学の校長だったのですが、その当時も給食はほとんど残りませんでした。学級閉鎖した日でも、残量はかなり少なかったです。すごい食欲でした。」

会長「放射能検査をしている事を知りませんでした。静岡県は遠いということがあって、不検出だろうとは思っていても、はっきり調べて頂いて不検出という結果が出て安心しました。なんで今まで知らなかったのだろうと思いました。」

委員「ぜひ市P連でも紹介してください。」

事務局「放射能検査は県が機械を用意してやっているのですが、震災から年数も経ちまして、全ての市でやっているわけでもない、やめた市もあると思いますが、島田市は当分続けるつもりでいます。」

会長「4ページの学校給食事業報告の中で、薬剤師による定期衛生検査というのが載っていて、薬剤師さんは薬の関係の人だと思っていて給食とかかわるとは思っていませんでした。薬剤師さんが、衛生検査をするという規定になっているのですね。」

委員「文部省から定期的に検査をするようにという指示が出ていますので、薬剤師さんにきちんと検査をしていただいています。保健所の定期的な立ち入りもありますし、衛生面では普段から気をつけているのですが、外部の目でみただけなのが大事なので見ていただいています。」

次に「(2) 平成 29 年度島田市学校給食事業計画について」事務局より説明を行った。

(質疑)

会長「南部学校給食センターの釧持さんにお聞きしたい事があるのですが、アレルギー食の件について説明があった時に、家の子供が、アレルギーをもっている生徒はお宅から何か持ってきているのが普通であると言っていますが、南部学校給食センターでは、対応していますか？」

委員「南部ではアレルギー対応食について対応していませんが、中途半端な対応だと、事故になる可能性があるので、南部ではご家庭に資料の提供だけ行っています。給食は全てが手作りでないものですから、冷凍食品の中にも卵が入っていたり、乳が入っていたりするので、どんな物が入っているのか、詳細な献立表をお渡しして、保護者に見ていただいています。この日の物が食べられないという、ご家庭からアレルギーの入っていない物を持参して、対応して頂いています。子供達もアレルギーの事は理解しているので、特別視をしていることはないと思います。」

委員「アレルギー対応、H27 年において当初 2 人で、昨年 4 人増えて 6 人対応ということですが、今年度は新規が 2 人で、トータルで 6 人ですか、昨年いた子達は 4 年生以下で、昨年はアレルギー食にしていたけれども、今年度は希望していない子が何人いるかわからないのですが、その辺の理由がわかればと教えて頂きたいと思います。」

事務局「H28 年度は対象者が 6 人いました。今年度は 5 人となりました。1 人減った訳ですけれども、この児童は、医師からアレルギーが改善されたという報告がありましたので、アレルギー食の提供はなくなりました。今年度の新規の 2 人は 2 学期から提供を開始しようかと思っていますので、平成 29 年度は 2 人増えまして、7 人提供する予定です。」

委員「親子料理教室、中学生料理バトルは何回やってきたのか、第何回というのかわかると、いつからやっているのかわかっていいかなと思います。」

事務局「親子料理教室につきましては 10 回以上とは思いますが。中学生料理バトルにつきましては、今年度 12 回目となります。中学生は男の子の参加もありまして、料理の段取りですとか、チームよく料理をしている姿を見ております。学校給食メニューに、優秀なものは取り入れていまして、学校給食のメニューとなると、非常にうれしいようです。」

委員「自分は主に納品の方を担当しています。給食を食べている所におじゃまして、農家さんが作ったものは、私達が納品していますが、それを給食にしてもらって、食べるからには、残さず食べてねと小学 3 年生の子に話をしました。きゅうり好きとか野菜好きとかいう子も多くて、春雨サラダなど、きれいに食べてくれました。」

委員「4 月に異動してきて、今 3 か月になります。中部学校給食センターは 6 千食で、皆で協力して、給食を作っています。JA さんにもトマト、きゅうりを納品

して頂いて、季節の旬の野菜を使いながら、献立を考えています。子供達には、おいしく楽しく給食を食べてもらいたいと思います。」

委員「残食の話で、私は昨年まで藤枝の中学校にいたのですが、藤枝の給食は米飯がアルミのカップでした。女子の生徒は2人で相談して、1つのものを半分ずつね、と言って食べていました。もう1つは残になってしまう、残しやすい状況でした。島田市では、しゃもじでご飯をよそうので、微調整もしゃもじのできるので、自然でいいなと思いました。」

委員「食育を含めて、全体として、教職員の食の指導であるとか、試食会などやっていたら、食の大切さを伝えて頂いているなと思います。父母会の方でもこういった内容を伝えて頂ければと思います。」

委員「昨年度あったのですが、問題が給食でおきますよね、例えば金属片が入っていたとか、子供達の健康に何事も無く本当によかったなと思います。給食センターも、幅広くてすばやい対応をしていただき、本当にありがたいなと思います。いつも私達にも連絡をすぐくださいます、子供達はこういう状況だ、こういう対応をしたと伝えて頂けるのですが、いつも責任をもってやってくださる調理員さん、職員さんには、頭が下がります。」

次に「(3)平成29年度島田市学校給食費の額について」事務局より説明を行った。質疑はなかった。

次に「3 その他 南部学校給食センター改修工事、機器更新について」事務局より説明を行った。質疑はなかった。

以上で議事が全て終了し、議長の任が解かれた。

4. 連絡事項

事務局「前回3月の運営委員会の時に、保護者の方からご質問があったので、どのような対応をしたか、報告させていただきます。伊久美小学校の保護者様から、ご飯が冷たいというご意見を頂きました。ご飯は業者さんに委託しているのですが、業者さんと話し合いをしまして、市内の学校のご飯を炊いたお釜から、飯缶に移すのですが、北部から順番に配缶をしていて、それが1時間位かかるとの事でした。小さい学校は後にして、大きい学校から始めて、配送すると、あつあつの物を入れて児童の器に移した時間が1時間くらい短縮できるという事で、改善をしました。あと、4月から配膳室に触らなくても温度が測れる温度計を各校配置して、温度を測るようにしました。校長先生にお伺いしたところ、温かくなったようだと報告を頂いております。」

事務局「台湾のバナナを学校に導入します。教頭会、校長会に連絡していますが、台湾との交流のきっかけづくりとして、台湾バナナを寄付したいとの話がありました。学校給食課としては、献立を2か月前にたてていますが、事業者の皆様方が、1学期の内にやりたい、との事でしたので、7月11日12日に設定しました。

バナナが1本80kcal、半分としても40kcal上乗せになりますので、比較的カロリーの低い日でこの日に設定しました。11日は14の小学校と5つの中学校で5,500人分、12日は4つの小学校と2つの中学校で3,000人分、一人あたり、半分で4,300本程頂けるとの事です。初日につきましては、代表で大津小学校で企業の方からバナナを贈呈して頂けるセレモニー、企業の皆さんもクラスに入って給食を食べて頂くような企画を設けています。今回バナナの提供に至った背景は、台湾は親日国です。去年は、人口2,350万人の台湾から、日本へは400万人と多くいらっしゃっていますが、逆に1億2,000万人の日本が年間180万人しか台湾にいていないということから、台湾政府としては、食文化や観光交流などをさらに進めたいとの意向があつてのものです。こうした取組を通して、日本の子供達が台湾を知るよい機会となり、島田市も台湾へ農作物の輸出を増やすなど、食文化の交流を促進する、修学旅行者をお互いに増やしていく事が、期待されています。バナナはあくが強いので、今回の状況をふまえながら来年度の実施について考えていきたいと思ひます。」

事務局より、次回の委員会について、新年度事業計画等の協議を3月上旬に予定しているとの報告を行った。

5. 閉会